

令和5年8月8日

公益社団法人 神奈川県環境保全協議会 御中

神奈川県知事

車椅子利用者用便房内へのユニバーサルシートの設置について（依頼）

本県の地域福祉行政の推進につきましては、日頃格別の御理解、御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、県では、地域共生社会の実現に向けた取組として、車椅子利用者用便房内へのユニバーサルシート（大人が横になれる大型ベッド）の設置を進めることとしました。

ユニバーサルシートは、介助の必要な方のおむつ交換や衣服の着脱、自立の車いす使用者の自己導尿などの場面で利用され、障がい者や高齢者の社会参加を支援するうえで、重要な設備となります。

つきましては、本依頼の趣旨を御理解下さり、貴協議会所管施設においても、施設用途や利用者のニーズ等を踏まえ、必要な箇所へのユニバーサルシートの設置について、御検討いただきますようお願いいたします。

また、貴協議会の会員施設等に対する周知についても、併せて御配慮くださるようお願いいたします。

問合せ先

環境農政局総務室

総務グループ 熊坂、川崎

電話 045-210-4021

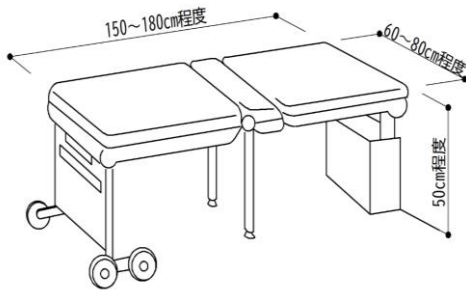
1. ユニバーサルシートについて

大人も横になれる大型のベッドで、様々な身体状況の方、介助が必要な高齢者、乳幼児などの外出先でのおむつ交換や衣服の着脱、自立の車椅子使用者の自己導尿、気分が悪いときに横になれるスペースなどとして利用され、車椅子等から乗り移りやすい高さに設置します。

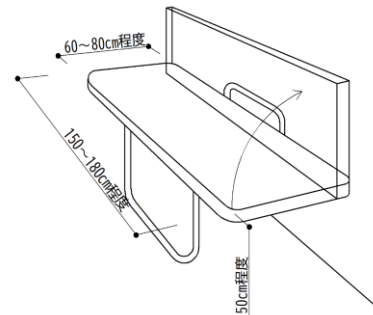
トイレ内での車椅子の移動・回転を妨げないように、壁際に固定するものや、短辺又は長辺方向折り畳み可能なものがあります。

<折り畳み式シートの仕様例>

○短辺方向に折り畳むシート



○長辺方向に折り畳むシート

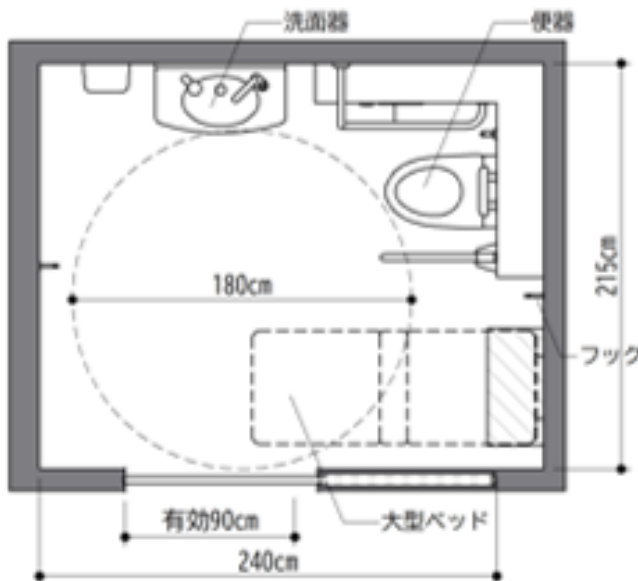


※シートの長さが 130cm 前後の商品もありますが、介助者等からのシートの大型化を求める声に対応するため、国では上記の仕様を標準としています。

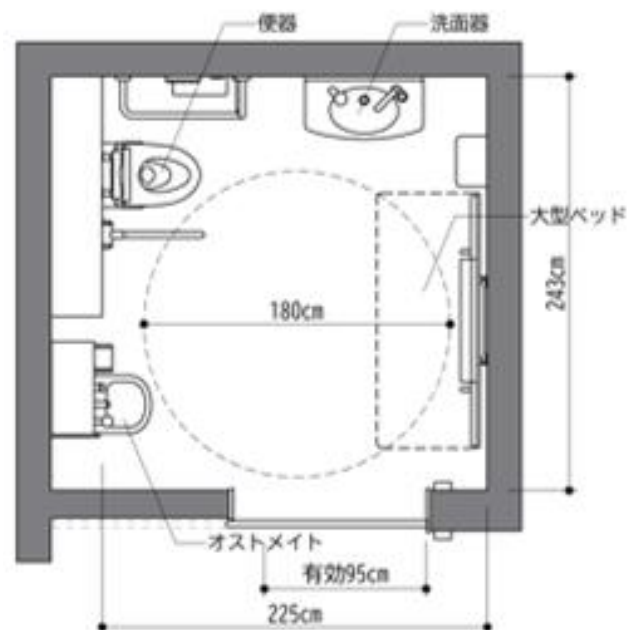
導入にあたっては、施設利用者等のニーズや設置スペース等も考慮して決定してください。

2. 配置例

短辺方向に折り畳むシートの場合



長辺方向に折り畳むシートの場合



図例は、「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準 令和3年3月」（国土交通省）から抜粋

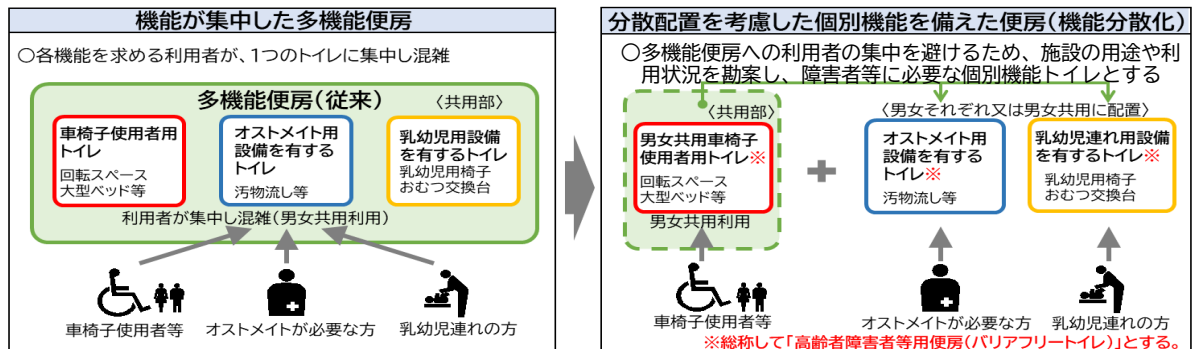
3. 整備にあたっての留意点

(1) 設置する場所

○シートは車椅子使用者用便室内に設置しますが、異性による介助・同伴利用等にも配慮し、少なくとも1以上は、男女が共用できる場所に設置します。

○便房は施設用途や規模に応じ、多様な利用者を十分に把握・想定したうえで、必要な数を設置します。

なお、多様なニーズに応えるため、あらゆる設備が1つの便房内に集約した場合、利用者が集中し混雑する恐れがあるため、個別機能を分散して配置することについても、併せて検討をお願いします。



(2) 便房内で設置する位置等

○車椅子からシートへの移乗動作や介助者の動作を考慮し、便室内には十分なスペースを確保します。

○戸の開閉や施錠の動作が円滑に行えるよう、戸の付近には設置しないようにします。

○シートを使用した後、折り畳まれない状態で退出された場合には、車椅子使用者が進入できなくなることが想定されるため、出入口の付近から容易に上げ下げできるような構造、位置とします。

○短辺方向に折り畳むシートを設置する場合には、安全性に配慮し、長辺の両端とも壁がない場所への設置は避けてください。

(3) その他留意事項

○乳幼児同伴者の利用が見込まれる「みんなのトイレ」内にシートを設置する場合には、同じ空間内に、必ずベビーチェアを設置します。(保護者が用を足したり、手洗いをを行う際に乳幼児を寝かせておく台としては使用できません。)

○シートが設置されている便房の出入口や戸には、文字や図記号等によりわかりやすく表示します。

【JIS Z 8210 案内用図記号】



介助用ベッド
Care bed

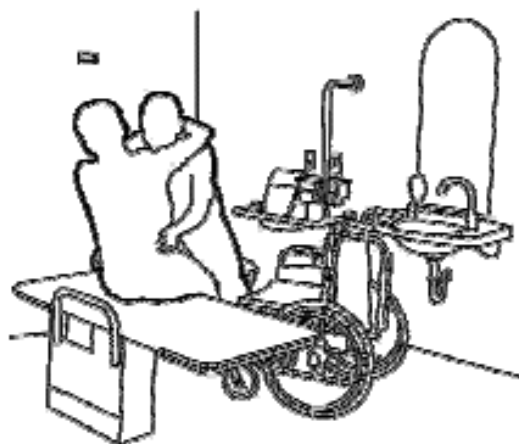
<利用イメージ> ※兵庫県「施設整備・管理運営の手引き（公益的施設編）」より

●大型ベッド使用者（おむつ交換）

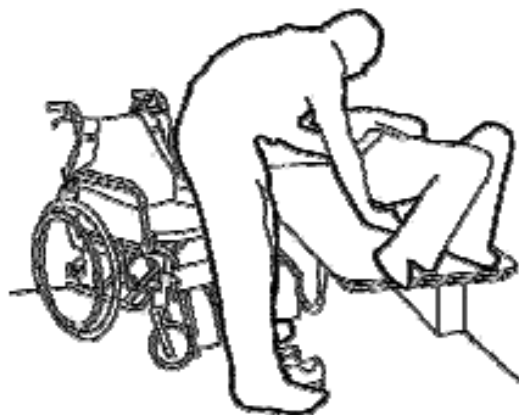
ベッドに横になり、着替えやおむつ交換をする方もいます。車いす待機スペースと介助者のスペースを確保します。

- ①車いすをベッドに近づけ、介助者が被介助者の正面又は側面から抱きかかえベッドに移乗します。

POINT
ベッドに隣接する位置に車いすが入るスペースと介助スペースが必要。



- ②ベッドに移乗し、横向きに寝かせて衣服の着脱・おむつ交換を行います。



●大型ベッド使用者（自己導尿）

便器や車いす上ではなく、ベッド上で自己導尿する方もいます。ベッドを広げた状態で車いすの待機スペースを確保する必要があります。

【女性の自己導尿、ベッド上で排せつする場合】

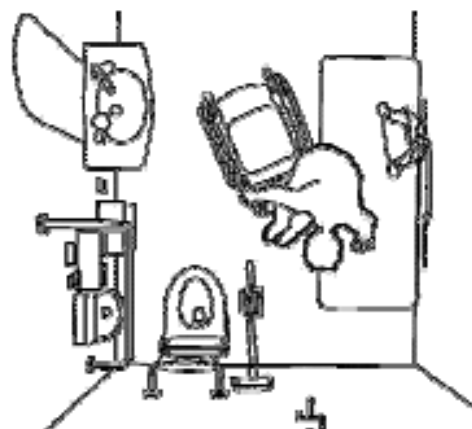
- ①車いすをベッドに密着させ、車いすのフレームとベッド上面を支えとして、ベッドへ移乗します。

POINT
車いすからのアプローチに問題ないように、ベッドに隣接する位置に車いすが入るスペースが必要。



- ②ベッドに移乗し、上半身を起こした状態で脱衣を行います。

POINT
左右片側ずつ脱衣するために、左右に手をつけて、支えることのできるベッド広さが必要。



- ③壁に寄り掛かり、姿勢を安定させます。

POINT
可能なかぎり、長座位のときに壁にもたれかかることができる位置にベッドを設置することが望ましい。

